

2026年度 新入社員ITエンジニア 育成研修

期間で選べる4コース

- ・ 短期 30日間（チーム演習1回） 2026年4月2日(木)～5月19日(火)
- ・ 中期 40日間（チーム演習3回） 2026年4月2日(木)～6月2日(火)
- ・ 長期 50日間（チーム演習5回） 2026年4月2日(木)～6月16日(火)
- ・ 総務・営業IT研修 3日間 2026年4月2日(木)～4月6日(月)

DEOS 新入社員育成研修の特徴

0. オンラインIT学習サイト 「SQT」で基礎力養成!!

集合研修開始前から終了1か月後までスマホやPCで利用いただける「SQT」を使用した自己学習（音声付きスライド教材と理解度確認テスト）で基礎知識を繰り返しインプットできます。新技術領域の教材を随時追加・更新。AIを活用した自然言語による検索（ChatBot）が可能。
標準学習時間：20時間 提供期間：2026年3月～7月末
※「SQT」は、(株)シナジークエストのe-ラーニング教材です。

1. IT技術者への第一歩を全力でサポート!!

- ・ ITスキルだけじゃない「ビジネスマナー・コミュニケーション」、
「メンタルタフネス研修」、他者に伝わる『報告』ができる社会人へ
- ・ 「受講者同士の親睦会」を開催予定
- ・ 研修に必要な環境やキーボード操作、ツールの使い方など丁寧に説明
- ・ 講義後、疑問/質問を毎日の日報に書き込むと翌日講師がフォロー
- ・ プログラム未経験者にもわかりやすいWeb教材で予習、復習が進捗に合わせて繰り返しできる
- ・ Web教材の単元テストで理解度をチェック
- ・ 生成AIの適切な活用方法を学び「AIを使っても自ら考えられる人」へ

2. プログラミング開発基礎

- ・ WEBフロントの基礎からJavaプログラミング、データベースとSQL、SpringBoot、Gitなどの開発基盤、オブジェクト指向UML、設計について講義とミニ演習を実施
- ・ 中期、長期コースでは「ソフトウェアテスト」2日間を実施
チームで初めて開発したシステムに、どのようなテストを実施するのがよいのか、テストを行うことでどのような結果が得られるのかを実感

3. チーム演習

- ・ 2～3名で同程度のスキルレベルによるチーム編成
- ・ アジャイルを取り入れた短期開発演習×最大5回
- ・ 演習課題：「会議室の Web 予約システム」
→チーム毎に到達点を決めて取り組み、イテレーションを反復するごとに、より現場に近い作業を体験できる
- ・ 各コースの最終日は「成果発表会」を開催、Zoomで成果発表会を観覧
- ・ 最終日に修了証発行（コース名、期間、受講時間など記載）

4. 人事担当責任者向け 「研修支援システム」

- ・ 責任者用アカウントを発行、会社単位に受講者の研修実施状況をリアルタイムに把握可能
- ・ 「SQT」の学習状況把握（理解度確認テスト結果を含む）、実施状況把握、(QAナレッジベース、ソース、チケット対応、コミットログ等)

5. 研修評価表の提出

- ・ 勤怠状況（遅刻、早退、欠席）
- ・ 行動タイプ分析結果
- ・ カテゴリ内のスキル5段階評価、理解度確認テスト結果
- ・ 講師所感

募 集 要 項

短期 30日間（チーム演習1回） 受講料：412,500円（消費税10%込）

◎基本要件に合ったプログラムを開発実行できる

中期 40日間（チーム演習3回） 受講料：594,000円（消費税10%込）

◎さらに拡張要件を加えたプログラム開発ができ、GitBucketのCIプラグインを利用した簡易的なCI、ソフトウェアテストの実践ができる

長期 50日間（チーム演習5回） 受講料：770,000円（消費税10%込）

◎実サーバー上への実装、モックを利用したWeb層でのテスト、ブランチとプルリク等CI/CD環境でRestControllerによるAPIとJavaScriptによる簡単なフロント処理の実装などより実践的な開発体験ができる

総務・営業IT研修 3日間 受講料：46,200円（消費税10%込）

◎技術職採用社員と一緒に、ビジネスマナー・コミュニケーション、開発プロジェクト導入など学べる

○ 開催時間：9：30～16：30 1日6時間

○ 開催形式：「会場」か「オンライン」いずれかを選択できます。

会場：北海道ソフトウェア技術開発機構 研修室

札幌市白石区菊水1条3丁目1番5号 メディア・ミックス札幌

オンライン（Zoom）：演習環境をインストール済みのカメラ付きPC

＜一人1台＞及び高速ネットワーク環境をご用意下さい。

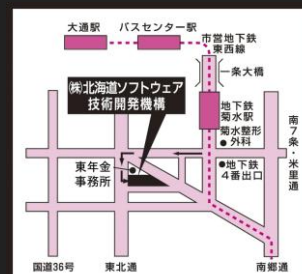
○ お申込み：ユーザ登録の上、Webにて2026年1月30日（金）までにお申込み下さい。

ご相談や人数のご予約は、事務局までご連絡ください。

※申し込み後、2026年2月20日（金）以降のキャンセルは、原則受講料の全額を請求させていただきます。

○ 会場定員：35名（先着順、定員になり次第締め切り）

○ 厚生労働省助成金のご活用については、北海道労働局 雇用助成金さっぽろセンターまでお問い合わせください。電話番号：011-788-9070



コース概要

	講座名	日数	日 程	内 容	備考
0	S Q T オンライン学習サイト		2026年3月～7月まで自身のペースでIT基礎、プログラミング基礎の講義部分の範囲を学ぶことができます。 PC・スマホによる視聴可能		
1	ビジネスマナー・コミュニケーション	1	4月2日(木)	自己紹介、良い印象を与える外見、組織で働くとは、名刺交換 表情、敬語、報連相、指示の受け方、ネットマナー、電話対応など	
2	開発プロジェクト導入	2	4月3日(金)	コース概要、性格分析、ツール、マークダウン記法、研修での生成AIの活用方法	
3			4月6日(月)	報告とは、PowerPont/Excelワーク、Zoomプレゼン方法 午後 成果発表会(営業・総務IT 終了)	
4	Webフロント技術の基礎	3	4月7日(火)	HTML/CSS基礎知識	
5			4月8日(水)	CSSフレームワーク（共通概念、Bootstrap、W3.CSS)	
6			4月9日(木)	コンテンツ制作のためのJS、jQuery	
7	Javaプログラミング	6	4月10日(金)	Java概要、実行環境、EclipseIDE、JavaScriptとの違い	
8			4月13日(月)	配列、制御構造との組み合わせ、静的メソッド	
9			4月14日(火)	複数クラスの利用、クラスとインスタンス	
10			4月15日(水)	カプセル化、クラス継承	
11			4月16日(木)	パッケージ、例外処理	
12			4月17日(金)	標準APIの利用、演習	
13	データベースとSQL	3	4月20日(月)	データベース導入、SQLとは、SQLの4大命令	
14			4月21日(火)	集計とグループ化、副問い合わせ	
15			4月22日(水)	テーブル結合、トランザクション、テーブル作成	
16	SpringBootプログラミング	7	4月23日(木)	JDBC、JavaとSQLの組み合わせ、DAO	
17			4月24日(金)	SpringBoot導入、Spring Data JPA	
18			4月27日(月)	Webアプリケーションの仕組み、Spring Web、GETリクエストの処理	
19			4月28日(火)	POSTリクエストの処理、フォームクラスの利用	
20			4月30日(木)	Spring MVC、Thymeleafの使い方	

※開催内容は、進捗状況により多少前後する場合がございますのでご了承ください。

	講座名	日数	日 程	内 容	備考
2 1	SpringBoot プログラミング	7	5月1日(金)	入力値の検証 (9:30-14:00) ※昼休み12:00-13:00を除く	
	メンタルタフネス研修			メンタルタフネス研修 (14:00-16:30)	
2 2	SpringBoot プログラミング		5月7日(木)	ログイン機能とSpring Security、総合演習	
2 3	開発プロジェクト入門	2	5月8日(金)	Gitの使い方、ソフトウェアのテスト	
2 4			5月11日(月)	UMLとJava、設計ドキュメント	
2 5	チーム演習(2週目) 後半	6	5月12日(火)	イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 (+可能なら機能追加)	
2 6			5月13日(水)	イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 (+可能なら機能追加)	
2 7			5月14日(木)	イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 (+可能なら機能追加)	
2 8			5月15日(金)	イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 (+可能なら機能追加)	
2 9			5月18日(月)	イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 (+可能なら機能追加)	
3 0			5月19日(火)	午前 イテレーション1: 最小限の機能実装でプロセス体験 最終リリースと成果発表の準備(短期) 午後 成果発表会(短期終了)	
3 1	チーム演習(2週目)		5月20日(水)	イテレーション2: 追加機能の実装に主体的に取り組む	
3 2			5月21日(木)	イテレーション2: 追加機能の実装に主体的に取り組む	
3 3			5月22日(金)	イテレーション2: 追加機能の実装に主体的に取り組む	
3 4			5月25日(月)	イテレーション2: 追加機能の実装に主体的に取り組む	
3 5	ソフトウェアテスト	2	5月26日(火)	イントロダクション ソフトウェアテスト概説 テスト設計技法演習	
3 6			5月27日(水)	テスト実装・実行演習 テスト設計技法の適用 テストのノウハウの活用 まとめと振り返り	

以下の開催を予定しております
★4月：親睦会開催 10月上旬：フォローアップ研修開催（無料）

	講座名	日数	日 程	内 容	備考
3 7	チーム演習(3週目)	4	5月28日(木)	イテレーション3：機能実装の反復 最終リリースと成果発表の準備（中期）	
3 8			5月29日(金)	イテレーション3：機能実装の反復、 最終リリースと成果発表の準備（中期）	
3 9			6月1日(月)	イテレーション3：機能実装の反復、 最終リリースと成果発表の準備（中期）	
4 0			6月2日(火)	午前 機能実装の反復、 最終リリースと成果発表の準備（中期） 午後 成果発表会(中期終了)	
4 1	チーム演習(4週目)	5	6月3日(水)	イテレーション4：新たな課題への取り組み（API実装、フロント強化など）	
4 2			6月4日(木)	イテレーション4：新たな課題への取り組み（API実装、フロント強化など）	
4 3			6月5日(金)	イテレーション4：新たな課題への取り組み（API実装、フロント強化など）	
4 4			6月8日(月)	イテレーション4：新たな課題への取り組み（API実装、フロント強化など）	
4 5			6月9日(火)	イテレーション4：新たな課題への取り組み（API実装、フロント強化など）	
4 6	チーム演習(5週目)	5	6月10日(水)	イテレーション5：新たな課題の完成、最終リリースと成果発表の準備	
4 7			6月11日(木)	イテレーション5：新たな課題の完成、最終リリースと成果発表の準備	
4 8			6月12日(金)	イテレーション5：新たな課題の完成、最終リリースと成果発表の準備	
4 9			6月15日(月)	イテレーション5：新たな課題の完成、最終リリースと成果発表の準備	
5 0			6月16日(火)	イテレーション5：新たな課題の完成、最終リリースと成果発表の準備 午後 成果発表会(長期終了)	

オンラインで受講の方は、以下のスペックを参考にPC一人1台をご用意ください

ハードウェア：OS：Windows 11以降、CPU：クアテッドコア2.5GHz以上 64ビット

RAM：16Gバイト以上、ストレージ：SSD、ブラウザ（Chrome）、カメラ付き

高速インターネット通信環境（Zoomによる講義や動画を受信可能な環境）

<演習環境>

ソフトウェア：Java環境：Adoptium OpenJDK（長期サポート版）

統合開発環境：Eclipse IDE（Pleiades All in One）+STSプラグイン

フレームワーク：Spring Boot、データベース：MariaDB（MySQL互換のオープンソースDBMS）

リポジトリサーバ：GitBucket（インターネット上で共有可）

UMLダイアグラム作成：PlantUML

【お問い合わせ先】株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部

電話番号：011-816-9700 e-mail:kensyu@deos.co.jp

助成金活用例



2025/11/5 作成

(人材開発支援助成金 人材育成訓練 正規雇用労働者の場合)

活用例1) <日数30日間 180h> 受講料412,500円の場合 受講者一人1コースあたり経費限度額 : 100時間以上200時間未満 中小企業30万円 大企業20万円

中小企業	(1)経費助成(受講料)	受講料の45%	185,600円	(1)+(2)=322,400円が助成となり、実質企業負担は <u>90,100円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 760円支給	136,800円	
中小企業以外	(1)経費助成(受講料)	受講料の30%	123,700円	(1)+(2)=192,100円が助成となり、実質企業負担は <u>220,400円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 380円支給	68,400円	

活用例2) <日数40日間 240h> 受講料594,000円の場合 受講者一人1コースあたり経費限度額 : 200時間以上 中小企業50万円 大企業30万円

中小企業	(1)経費助成(受講料)	受講料の45%	267,300円	(1)+(2)=449,700円が助成となり、実質企業負担は <u>144,300円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 760円支給	182,400円	
中小企業以外	(1)経費助成(受講料)	受講料の30%	178,200円	(1)+(2)=269,400円が助成となり、実質企業負担は <u>324,600円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 380円支給	91,200円	

活用例3) <日数50日間 300h> 受講料770,000円の場合 受講者一人1コースあたり経費限度額 : 200時間以上 中小企業50万円 大企業30万円

中小企業	(1)経費助成(受講料)	受講料の45%	346,500円	(1)+(2)=574,500円が助成となり、実質企業負担は <u>195,500円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 760円支給	228,000円	
中小企業以外	(1)経費助成(受講料)	受講料の30%	231,000円	(1)+(2)=345,000円が助成となり、実質企業負担は <u>425,000円</u> となります。
	(2)賃金助成	時間単位 380円支給	114,000円	

- 上記活用例は、2025年11月時点の数値であり、変更になる場合がございます。
- この研修は【人材開発支援助成金】等がご利用いただけます。手続き等ご不明な点は北海道労働局や管轄のハローワークでお尋ねください。
- 要件により対象となるコース、限度額等が異なりますので、詳細は必ずお問い合わせください。
- 認定実習併用職業訓練をご利用の際は、実施計画届提出前に厚生労働大臣の認定が必要です。(申請手続きは令和7年1月までに)

【助成金のお問い合わせ先】

北海道労働局 雇用助成金さっぽろセンター

電話番号 : 011-788-9070

【研修のお問い合わせ先】

株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部 電話番号:011-816-9700 e-mail:kensyu@deos.co.jp

〒003-0801 札幌市白石区菊水1条3丁目1-5メディアミックス札幌
(地下鉄東西線菊水駅4番出口徒歩4分、札幌東年金事務所となり)